

令和8年度丹波市の教育（実施計画）重点施策

1 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな教育の推進

特別支援教育に関する教職員の専門性のさらなる向上を図るため、教職員研修の充実をすすめるとともに、2年目となる特別支援教育専門家チームの活用を推進します。併せて、特別支援教育にかかる効果的な施策を研究するため、有識者、学校教育関係者で構成する特別支援教育プロジェクトチームを新たに設置します。

また、学校に行きづらい児童生徒の将来の社会的自立に向けて、教育支援センター「レインボー」と丹波市地域つながりセンター「ここから」との連携を深め、長期的な視野に立った支援体制を整備します。

2 部活動の地域展開の推進

部活動の地域展開を推進するため、認定地域クラブへの補助金を新設し、地域や家庭、関係機関と連携しながら、中学生がやりたいスポーツ・文化芸術活動を継続できる環境整備を図ります。

3 乳幼児期の教育・保育の推進

すべてのこどもが格差なく小学校での学びへと接続できるよう幼児期及び架け橋期の教育の質を向上させるとともに、各地域の特性をいかした架け橋期のカリキュラムの作成を継続して支援していきます。

また、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施に伴い、実施施設を増やし、良質なこどもの育ちの環境整備を図ります。

さらに、保育士不足の解消に向け、子育て支援員研修を3年ぶりに実施します。

4 地域学校協働活動の充実

学校と地域の連携を強化するため、地域学校協働活動推進員を全小学校に配置するとともに、「たんばふるさと学」を地域学校協働活動に統合し、学校（学び）を核とした地域づくり、人づくりの実現をめざします。

併せて、地域づくり交付金のメニューに地域学校協働活動にかかる経費を上乗せし、地域の主体性の増強を図ります。

5 丹波竜化石発見 20 周年記念事業 大恐竜展の開催

丹波竜化石が平成 18 年度に発見されてから令和 8 年度に 20 周年を迎えるにあたって、世界で初めて発見された新属新種の恐竜の全身骨格などを展示の目玉として、「白亜紀の恐竜」をテーマに特別展（2026 秋予定）を開催し、常設展では学習できない化石などについて学ぶ機会を提供します。

6 親しみを感じる図書館づくりの推進

丹波市図書館基本計画（丹波市子ども読書活動推進計画）の基本理念である「市民に寄り添い ともに学ぶ、つながる、つくる みんなの図書館」をめざして様々な取組を展開していきます。

電子図書館と児童生徒 1 人 1 台端末の連携を活用し学校利用向けコンテンツを更に増やすとともに、学校図書館と公共図書館が相互に連携を図り、こどもの読書活動を推進します。

7 学校給食の無償化

国の「給食費負担軽減交付金事業（仮称）」を活用し、小学校児童全員の学校給食を無償化するとともに、引き続き中学校生徒全員の学校給食無償化に取り組み、さらなる子育て支援を図ります。

8 こどもたちの学びを支える環境の整備・充実

児童の熱中症対策及び快適な学習環境整備のため、小学校の特別教室の空調設備設置と体育館の照明の LED 化を実施します。

また、学校図書館をこどもたちの居場所としてより魅力あるものにするため、こども提案による学校図書館づくりに引き続き取り組みます。

さらに、校務DXを推進するため、校務機能をクラウド環境に移行するとともに、校務用と指導用を一体化した教職員用タブレット端末を導入し教育の質の向上をめざします。